1. テンキー入力

テンキー入力画面を作成します。通常、画面上にキーパッドは存在せず、入力する時だけ表示す る画面を作成します。

• 通常 : テンキー OFF

	,	24		
D100	0 D105	+0	D110 0.0	D115 0000
D101	0 D106	+0	D111 0.0	D116 0000
D102	0 D107	+0	D112 0.0	D117 0000
D103	0 D108	+0	D113 0.0	D118 0000
D104	0 D109	+0	D114 0.0	D119 0000

• 入力時: テンキー表示



数値表示に重ねて配置した隠しス イッチでテンキー表示

ENTER キーでテンキー OFF

目次

画面例		P1-2
画面作成		P1-3
1. オーバ	ーラップライブラリ編集	P1-3
2. スクリ	ーン編集	P1-14
本体動作確認		P1-29
1. 使用メ	Ε Ψ	P1-29
2. 本体動	作	P1-29
Q & A		P1-33

1

国次

画面例 本章では D100~D119 に入力する画面を作成します。 PLC 0000000000 テンキー入力 D100 0 Dec D101 0 Dec D102 0 Dec D103 0 Dec ÷ D100 0 D105 +0 D110 0.0 D115 0000 0 D106 +0 D111 0.0 D116 0000 D117 0 Dec 0 +0 D112 0.0 D117 0000 D118 0 Dec 0 +0 D118 0000 D113 0.0 D119 0 Dec D104 0 D109 +0 D114 0.0 D119 0000 ~ テンキー表示 テンキー入力 最小值 50000 最大値 0 D100 D105 +0 入力表示 50000 0 D106 +0 UP 0 D107 +0 DW D108 +0 0 D109 +0 D104 0 PLC 入力 ¥ テンキー入力 D100 50000 Dec D101 0 Dec D102 0 Dec D100 50000 D105 +0 D110 0.0 D115 0000 D103 0 Dec D106 +0 0 D111 0.0 D116 0000 ÷ 0 D107 +0 D112 0.0 D117 0000 D117 0 Dec D108 +0 D108 0 D113 0.0 D118 0000 D118 0 Dec D109 +0 D104 0 D114 0.0 D119 0000 D119 0 Dec

1-2

画面作成

1. オーバーラップライブラリ編集

オーバーラップライブラリに領域を作成し、テンキーを登録します。オーバーラップライブラリ で作成したオーバーラップは、全てのスクリーンで使用できるため、テンキーやメニュー画面の 作成に便利です。



オーバーラップの種類

 $(\bullet \bullet)$

種類	作成	使用
マルチオーバーラップ	オーバーラップライブラリ編集	全スクリーン
コールオーバーラップ		
ノーマルオーバーラップ	スクリーン編集	作成したスクリーン

1.1 オーバーラップ領域の作成

[登録項目]→[オーバーラップライブラリ]をクリックします。[オーバーラップライブラリ]ダイアログが表示されます。



No.0を設定し、「OK」をクリックします。オーバーラップライブラリ No.0 の編集画面が表示されます。

画面作成

 [オーバーラップ]アイコン、または[パーツ]→[オーバーラップ]→[ノーマルオー バーラップ]をクリックします。十字カーソルとオーバーラップ領域が表示されます。



画面上でクリックします。オーバーラップが配置され、オーバーラップダイアログが表示されます。

	オーパーラップ
クリックで配置	>イン スタイル 細川 設定 座標 オーバーラップID 0 ○
	□ システムポタン □ スーパーインボーズ

- 5. オーバーラップの詳細を設定します。
- ・メイン

オーバーラップ	3
メイン スタイル 細かい設定 座標 オーバーラップID 0 0 ● 反ステムボタス □ スーパーインボーズ	

項目	内容	設定値
□システムボタン	オーバーラップの領域左上隅にスイッチ機能(移動/消去)を 付ける場合にチェックします。 動作の詳細は「2.1 マルチオーバーラップの表示と移動」 (P1-29)参照。	チェック あり
□スーパーインポーズ	スーパーインポーズ機能を使用する場合にチェックします。 スーパーインポーズについて詳しくは『リファレンスマニュア ル』(2章)参照。	チェック なし

• スタイル

	オーバーラップ 🛛	
	メイン スタイル 細かい設定 座標 枠タイプ マ カラー ペ 投 ・ 領域 ・ パーツの変更	
項目	内容	設定値
枠タイプ	オーバーラップの枠タイプを設定します。選択したパーツに よって、枠タイプの設定がない場合もあります。	タイル
カラー 枠 領域	枠カラー / 領域カラーを設定します。	-
パーツの変更	オーバーラップのパーツを変更します。	-

細かい設定

設定しません。

● 座標

	<mark>オーバーラップ ③</mark> メイン 2タイル 細がい設定 座標 始点X 240 ♀ 始点X 100 ♀ 幅 324 ♀ 高さ 430 ♀	
項目	内容	設定値
始点 X	オーバーラップの始点 X 座標を設定します。	240
始点 Y	オーバーラップの始点 Y 座標を設定します。	100
幅	オーバーラップの幅を設定します。	324
高さ	オーバーラップの高さを設定します。	430



これでオーバーラップ領域の作成は終了です。次にテンキーを配置します。

1.2 テンキーの配置





2. [パーツ]→[パーツの一覧]をクリックします。[パーツの一覧]が表示されます。
 3. [テンキーパッド]を選択します。

🔜 K-1	ツの一覧	= [Par	ts_KeypadGp.V7] 📃 🗖 🚺	ĸ
ファイルほ	E) 編集	(E) 表示	NU システム設定(A)	
🗋 🖼	E (🏼	テンキート	ال 🗸 🚽 🚽 🕹 🖌	
€ ⇒	10	[3D 鼓作	(A1)	
7	8	9		^
4	5	6	v	
1	2	3	CLR	
0		+/-	ENT	

画面作成

[←][→]ボタン、またはプルダウンメニューより、パーツを選択します。
 選択したパーツをオーバーラップ上にドラッグします。テンキーが配置されます。



1.3 入力アイコン

配置したテンキーの左上には、テンキーの詳細を設定する[入力]アイコンがあります。入力ア イコンは、必ずテンキーと一緒に設定します。この入力アイコンが存在しない、または設定に間 違いがある場合は正常に動作しません。



◆ 入力アイコンの確認方法

1. オーバーラップを選択します。ハンドルが表示されます。

┛オーバーラップライブラリ[0] 編集()				
				<u> </u>	
e a construction and a second second	・・・・ハン	ドル			1 A 1
					1.1
		One restaurant			
🛛		9	オーバ	-507	
			31	ン スタイル 細かい設定 座	æ
			7	-/1-59710 0 0	
				システムボタン	
•••			· • • • •	スーパーインボーズ	
	B T B T	C C DW	- 1 - 1- 1-		
		7 7/-			
	4 1 151	16° 112	e e e e		
e e la construction de la construct	1 1 1 1 1 Q 1 1 1	ENTER	- 10 m -		_
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			1.1
		1			
e a la construction de la construct					1 A 4
					· · · 💌

2. テンキーを選択します。赤色のハンドルが表示されます。

スクリーン[0] 編集()		
→ オーバーラップライブラリ[0] 雪集()	
e e la seconda de la seconda de la seconda de	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	a a a a a a a a a a a
e e la construction de la	The second se	a a successive a successive successive successive successive successive successive successive successive succes
	la su	a a a a a a a a a a a a
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	a a a a a a a a a a a a
		a de la companya de l
	赤色の川	21511
en el companya de la caractería de la companya		a a sa a sa a sa a 💶
e e la companya de la companya de la companya	7 8 9 +/- 1	a series and the series of the
and the second second second second second		
• • • • • • • • • • • • • • • •		a a a a a a a a a a a a a a a a a a a
		a de la companya de l
	1 2 3 CLR	
	V ENIER	
	U	
	•	
en el la companya de		a second second second second
e de la companya de l		and a second second second second
<	11	
	383 : 432	Z: 100N

テンキーの左上隅の[入力]アイコンをクリックします。[入力]ダイアログが表示されます。



本章ではデフォルトの設定をそのまま使用します。設定の詳細については『リファレンスマニュアル』(7章)を参照してください。

1.4 その他パーツの配置

数値入力用の入力表示・最大値表示・最小値表示を配置します。

◆ 入力表示

- 1. オーバーラップを選択します。ハンドルが表示されます。
- 2. [数値表示]アイコンをクリックします。十字カーソルと、パーツが表示されます。



3. オーバーラップ上でクリックします。パーツが配置され、アイテムビューが表示されます。



画面作成

- 4. 数値表示の詳細を設定します。
- ・メイン

ארצ .	スタイル 演算・警報 細かい設定 座標
XEU PLCX	ŦY 🔽 🖸 🗘 🔽 00100 😂
データ長	◎ 1ワード ○ 2ワード
桁数	5 🔹 小数点 1 🚖
表示形	式 DEC(符号なし) 💙
入力形	式 O BCD ④ DEC O 実数
🗹 Vot	サプレス 🔘 左詰め 💿 右詰め
機能	
機能な 入力表	
最大値 最小値 入力対 統計グ	表示 表示 匀7%表示

項目	内容	設定値
桁数	桁数を設定します。	5
小数点	小数点あり / なしを設定します。	1
表示形式	表示形式を設定します。	DEC 符号なし
ゼロサブレス	ゼロサプレスあり / なしを設定します。 チェックあり(右詰め) チェックなし ししし12 00012	チェック あり 右詰め
機能	機能を設定します。	入力表示

• スタイル

入力表示の文字属性を設定します。 パーツの変更は[パーツの変更]ボタンから行います。

● 演算●警報

[機能:入力表示]の場合、設定はありません。

細かい設定

項目	内容	設定値
処理サイクル	処理サイクルを設定します。	高速
ID	IDを設定します。	0

• 座標

座標を設定します。

画面作成

♦ 最大値表示 / 最小値表示

入力表示と同じ手順で配置します。それぞれ機能を [最大値表示] [最小値表示] に設定しま す。

鼓値表示 🛛	教値表示
メイン スタイル 演算・警報 細加い設定 座標	メイン スタイル 演算・警報 細かい設定 座標
メモリ 内部が刊 🗸 💱 🗸 🗸 🗘	メモリ 内部VFV 🖤 🗤 🐨 00100 😂
データ長 ③ 1ワード 〇 2ワード	データ長 ③ 1ワード ○ 2ワード
桁数 5 🛟 小数点 1 ᅌ	桁数 5 ᅌ 小数点 1 ᅌ
表示形式 DEC(符号なし)	表示形式 DEC(符号なし) 💙
入力形式 OBCD ③ DEC O 実数	入力形式 ○ BCD ④ DEC ○ 実数
✓ ゼロサプレス ○ 左詰め ○ 右詰め	✓ ゼロサプレス ○ 左詰め ○ 右詰め
機能	機能
機能なし 入力表示	機能なし
最不 <u>他表示</u>	最小值表示
人刀対象	人刀対象 統計グラフ%表示 ▼

1.5 ID の確認

オーバーラップに配置したパーツの ID を確認します。

[表示]→[表示環境設定]をクリックします。[表示環境設定]ダイアログが表示されます。



2. 詳細の [□ID No. を表示] をチェックし、[OK] をクリックします。オーバーラップ上の各 パーツの左下に ID が表示されます。



3. 全ての ID が 0 であることを確認します。異なる ID のパーツがある場合、正常に動作しません。設定し直してください。



1.6 テキストの配置

最大値 / 最小値 / 入力表示のテキストを配置します。



- 1. オーバーラップを選択します。ハンドルが表示されます。
- 2. [テキスト]アイコンをクリックします。十字カーソルが表示されます。
- 3. オーバーラップ上でクリックします。テキスト枠とテキストダイアログが表示されます。
- 4. 文字を入力し、カラー、配置位置を調整します。



以上でオーバーラップライブラリ編集は終了です。[スクリーン編集]ウィンドウに戻ります。

き 元のサ 移動()	イズに戻す(R) ()			-	÷		÷	-	-	÷	-	÷		÷		-	-	÷	-	-	÷			2
サイズ3 _ 最小化	変更(S) :(N)													-	 									
□ 最大化	.00																							
× 閉じる	(<u>C</u>)	Gtr1+F4																						
<u>አ</u> ወታ	心ドウに移る①	Ctrl+F6	1			8.0							 			835								
1.1												1				T:								

画面作成

2. スクリーン編集



スクリーン編集では、書込先となる数値表示、オーバーラップを呼び出すスイッチ、マルチオー バーラップの登録を行います。

2.1 マルチオーバーラップ登録

- 1. [パーツ]→[パーツの一覧]をクリックします。[パーツの一覧]が表示されます。
- 2. [入力]の[#03D数値表示]を選択します。



[マルチオーバーラップ]アイコンを選択し、画面上にドラッグします。アイコンが配置され、[マルチオーバーラップ]ダイアログが表示されます。



本章ではデフォルトの設定をそのまま使用します。設定の詳細については『リファレンスマニュアル』(2章)を参照してください。

画面作成

2.2 数値表示パーツを配置する

- 1. [パーツ]→[パーツの一覧]をクリックします。[パーツの一覧]が表示されます。
- 2. [入力]の[#0 3D 数値表示]を選択します。



3. 数値表示パーツを選択し、パーツを画面上にドラッグします。数値表示が配置されます。

📮 スクリーン[0] 編集())	
	≏
	🖪 パーツの一覧 - [Parts_EntryMode.V7] 💦 🔲 🖸
	. ファイル(E) 編集(E) 表示(V) システム設定(A)
n en la companya de l	🖸 🖼 🖪 📓 💹 🚽 🖬 OFF 🔽 100
	🔹 🜩 📫 [3D 数值表示] 🔽 🔽
a se a ser a s	
n e la seconda de la second	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	17526 17528620000
	92093070099
ドラック	
	1234 1234567890
n en la seconda de la construcción	120 / KC7000
	12349
e e se e e e e e e e e e e e e e e e e	(1234) (1234567890)
n an	
n en la seconda de la construcción d	
	<
e e la construction de la construct	a a cara a cara a cara da cara
n a standard	a a a a a a a a a a a a a a a a a a a
n en la seconda de la companya de la	e a construction de la construction
$ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ _{1}$, $ $	and the second
	×
b7 ² r 380): 259 Z: 100%

- 4. 数値表示ダイアログが表示されます。各項目を設定します。
 - ・メイン

書込先のメモリ、機能を設定します。

数値表示 [
メイン スタイル 演算・警報 細がい設定 座標
1 - 3 - 3 - 3 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5 - 5
表示形式 DEC(符号なし)
マゼロサプレス ○ 左詰め ③ 右詰め
機能 様能なし へ
▲ 八/表示 最大値表示 最小値表示
統計グラブ%表示
Y#3//Nii

項目	詳細	設定値
メモリ	書込先メモリを設定します。	D100
データ長	書込先メモリのデータ長を設定します。 設定値:1 ワード /2 ワード	1ワード
桁数	書込先メモリの桁数を設定します。 設定値 :1~32	5
小数点	小数点あり / なしを設定します。 設定値: 0: 小数点なし 1~10: 小数点あり(小数第 1 位 ~10 位)	0
表示形式	画面に表示する形式を設定します。	DEC (符号なし)
入力形式	メモリの値を読み込む際のコード形式を設定します。	DEC
ロゼロサブレス	ゼロサブレスあり/なしを設定します。 チェックあり(右詰め) チェックなし 山山12 00012	チェックあり 右詰
機能	数値表示の機能を設定します。	入力対象
選択順	複数の入力対象を配置する場合にカーソルの移動順を設定しま す。	0

• スタイル

パーツの変更や、文字属性の設定を行います。

画面作成

警報の設定をします。



項目	詳細	設定値
警報	警報を使用する場合にチェックします。	チェック あり
最小値	最小値と、最小値を下回った場合の文字カラーを設定します。	0 赤
最大値	最大値と、最大値を上回った場合の文字カラーを設定します。	50000 青
演算 レンジ変換	詳しくは、『リファレンスマニュアル』(5章)参照してくださ い。	チェック なし

- 細かい設定 変更しません。
- 座標
 座標を設定します。

画面作成

2.3 数値表示を複数コピーする

1. 数値表示を選択します。ハンドルが表示されます。



 [編集]→[複数コピー]または[複数コピー]アイコンをクリックします。[複数コピー] ダイアログが表示されます。

編集(<u>E</u>)	表示☑	パーツ(P)	登録項目
너 ಸಂಧ	(₫(<u>U</u>)		Ctrl+Z
🖬 やり直	L(<u>R</u>)		Ctrl+Y
<mark>‰</mark> ហោស	9) (T)		Ctrl+X
นิธีวิช-เ	<u>(C</u>)		Ctrl+C
1日期 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	(†(P)		Ctrl+V
選択さ	れた画面へ	貼り付け	
選択さ	れた画面へ	貼り付けを	元に戻す
削除(<u>D</u>)		
認複動	Jピー(E)		
グルー	プ化		•

または



3. 以下のように設定し、[OK]をクリックします。数値表示がコピーされます。



		<u>^</u>
		and the second second second
		1. A. A. A. A.
		1 A A A
		1.1.1.1
and a second		
		1 A A A
and the second		1 A A A
		1 A A A
		1.4.4.4
r 100)		1 A A A
	12345 12345	1.1.1.1.1
10046	100/6	
12040	12/40	
12245	12345 12345	
v間隔		1
12345	12345 12345	1.1.1.1
	12345. 📥	1 A A A
and the second	er e 🕹 - e - e - e - e - e - e - e - e - e -	1 A A A
「「「「」」」「「「」」」「「」」」」		1.1.1.1.1
and the second		1. A. A. A.
the second s		
H		2

[表示]→[表示環境設定]をクリックします。[表示環境設定]ダイアログが表示されます。



5. [□メモリを表示]をチェックし、[OK]をクリックします。数値表示の左下にメモリが表示されます。D100~D119に設定されています。

12345 12345 12345 12345 12345	12345
12345 12345 12345 000101 0001111 00	12345
12345 1235 1235 1235 1235 1235 1235 1235 123	12345
12345 12345 12345 12345 12345	12345
12345	12345

画面作成

6. 各数値表示の設定を変更します。本章では以下のように変更します。



以上で入力対象の設定は終了です。

2.4 オーバーラップ呼出スイッチを配置する

透明なオーバーラップ呼出スイッチを数値表示パーツに重ねて配置します。

- 1. [パーツ]→[パーツの一覧]をクリックします。[パーツの一覧]が表示されます。
- 2. [入力]の[#0 3D 数値表示]を選択します。

📓 パーツの一覧 - [Parts_EntryMode	.v7] 🔳 🗖 🛛
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) システム説	定(<u>A</u>)
	🗸 🖬 OFF 🔽 100%
● ● 10 [3D 数値表示]	~
<u>M</u>	<u>^</u>
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	-
1234: 1234567890:	
	_
12070	
02040	
(1234) (1234567890)	
17977: 1797756790h	
SACHO SACHOOD	
<	> .::

3. 透明なスイッチパーツ(点線枠のみのパーツ)を画面上にドラッグし、配置します。[ス イッチ]ダイアログが表示されます。

🖵 スクリーン[0] 編集(💦 🔪 🔪					
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
				E K⇒N0→St - Revie	intruMede 1/71
				ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	システム設定(A)
e e service e e e e e				0 🖙 🖪 🔳 💹	V BF OFF V 100%
				🛑 🔶 📫 🚺 🚺 🏚	AJ 💙 💙
e e <mark>servere e e e</mark> e e				M	<u>^</u>
e de la companya de l	「「ドラッグ」」				
	and the second			<u> </u>	
			FFFE		
12245	+122/6	1224 5	FEE	1234: 12345	(7890)
12343 0001011	+1234J 000108	1234.3			
12345	+12345	1234.5	FFFF	1234) 12345	37890:
000102	000107	000112	0001171		
12345	+12345	1234.5		(12345)	\$7890:
12345	+12345	1234 5	FEFE		
000104	000108	000114	0001131	(1234) (12345)	87890:
e e server e e e e e					
					×
				<	2.
e e la construction de la construct				e e e e e e e e	
2				×	
				<u> </u>	
ปรัง			583 : -39 Z: 100%		

 【スイッチ]→[メイン]の[表示位置指定]をチェックします。[X座標:0][Y座標:0] なので画面[0:0]の位置に「MLIB」マークが表示されます。



5. [X 座標:420][Y 座標:160]に設定します。「MLIB」マークの位置が[420:160]の位置に 移動します。





- 6. スイッチが数値表示(D100)に重なるようにサイズを調節します。
- 7. 同じ手順で数値表示 (D110) にもスイッチを配置します。



8. [表示位置指定]は[120:160]に設定します。このスイッチを押した場合、マルチオーバー ラップは左側に表示されます。

1

2.5 スイッチを複数コピーする

隠しスイッチをコピーします。

1. 左側に配置したスイッチを選択します。ハンドルが表示されます。



 [編集]→[複数コピー]または[複数コピー]アイコンをクリックします。[複数コピー] ダイアログが表示されます。

編集Œ)	表示₩	パーツ(P)	登録項目
n 元に戻	(∐) €		Ctrl+Z
🖬 やり直	ե(<u>R</u>)		Ctrl+Y
🔀 切り取	90D		Ctrl+X
	<u>c</u>)		Ctrl+C
高貼り付	(†(<u>P</u>)		Ctrl+V
 選択さ	れた画面へ	貼り付け	
選択さ	れた画面へ	貼り付けをテ	記戻す
削除([2)		
認複数コ	ピー(E)		
グルー:	プ化		•

3. 以下のように設定し、[OK]をクリックします。スイッチがコピーされます。

 ● ドット ● うイン/カラム ● 間隔 ● 距離 	
・ ボロボ島 56 ・ 方方皮更。 第日第二 2 ・ 「方方皮更。 (個数 × 2 ・ (個数 × 2 ・ 「方方支更。 (個数 × 2 ・ (個数 × 2 ・ (個数 × 2 ・ (個数 × 2 ・ (個数 × 5 ・ 1 </th <th>+22455 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12555 -12555 -12555 -12555 -12555</th>	+22455 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12255 -12555 -12555 -12555 -12555 -12555
ОК 1 е/тел	

4. 左から2列目のスイッチサイズを調整します。



5. 右から2列目に配置したスイッチを選択します。ハンドルが表示されます。

	□ スクリーン(0) 編集(•		
× × × × × × × × × × × × × × × × × × ×		12345 12345 12345 12345 12345 12345 12345 12345 12345 12345	E 2025 2025 2025 2025 2025 2025 2025	X153 図 221.6. 年間5, 松田 月間 オノン エン 月辺 オノン エン 月辺 オノン エン 日辺 日辺 ビジン ビジン 日辺 ビジン

 [編集]→[複数コピー]または[複数コピー]アイコンをクリックします。[複数コピー] ダイアログが表示されます。

編集(E) 表示(⊻)	パーツ(P)	登録項目
▶□元に戻す(!!)		Ctrl+Z
வ やり直し(<u>R</u>)		Ctrl+Y
🏑 切り取り(T)		Ctrl+X
D_32-©)		Ctrl+C
■ 貼り付け(P)		Ctrl+V
選択された画面へ	貼り付け	
選択された画面へ	貼り付けを	もに戻す
削10余(<u>D</u>)		
28 複数コピー(E)		
ガループ化		•
同志		

画面作成

7. 以下のように設定し、[OK]をクリックします。スイッチがコピーされます。



8. 右端のスイッチサイズを調整します。

₽ 1 12885 12885 12885 12885 12845	スクリーン[0] 編集()				<mark>X</mark>
Image: Second secon					
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				2
12245 1224.5 TEFF				· · · · ·	
12345 12345 1234.5 TFF 12345 12345 1234.5 TFF 12345 12345 1234.5 TFF 12345 TFF 12345 1234.5 TFF 1235 1235 TFF 1235 1235 1235 TFF 1235 1235 1235 TFF					
12345 +12345 1234.5 9777 112345 11234.5 11234.5 1777 112345 11234.5 1777 112345 11234.5 1777 112345 11234.5 1777 112345 11234.5 1777 112345 11234.5 1777	12345	12345	5 FEFE		
12245 12245 1224.5 1224	12345	12345	5 FFFF	• · · · · · · · ·	
12345 12355 12355 12355 12355 12355 12355 12355 12355 12355 12355 12355	12345	12345	5	→調整	
	12345 +	12345 1234.	5 FFFF	•	
	12345	12345	b contrat		
2					
	н			2	

以上でスイッチの配置は終了です。

2.6 テキストの配置



スクリーンのタイトル、メモリ No. を示すテキストを配置します。

- 1. [テキスト]アイコンをクリックします。十字カーソルが表示されます。
- 2. スクリーン上でクリックします。テキスト枠とテキストダイアログが表示されます。
- 3. 文字を入力し、カラー、配置位置を調整します。



以上でスクリーンの編集は終了です。本体に転送し、動作確認を行います。

1

本体動作確認

1. 使用メモリ

本例での、使用メモリは次の通りです。

メモリ	メモリ内容		
D100~119			
\$u16330 * 入力モード(指令メモリ)			
\$u16340 * 入力モード(情報出力メモリ)/ マルチオーバーラップ(情報出力メモリ)			
* 入力モードを制御したり、情報出力メモリを利用する場合は他のメモリに変更します。			

2. 本体動作

2.1 マルチオーバーラップの表示と移動

 画面上の数値表示を押します。オーバーラップ画面が表示され、数値表示にカーソルが表示 されます。



2. オーバーラップの左上隅を押します。オーバーラップの枠が点滅します。





3. 移動先を指で押します。オーバーラップ画面が移動します。



4. オーバーラップの左上隅をダブルクリックすると、オーバーラップが消えます。



 $\overline{}$

2.2 数値の入力

1. 「D100」の数値表示を押します。右側にオーバーラップ画面が表示され、「D100」の数値が 反転します。



 $\overline{\bullet}$

入力対象に警報の設定がある場合、オーバーラップ上の [最大値][最小値]に表示されます。 範囲外の値を入力した場合、ENTER キーは受け付けません。

- テンキー入力 最小値 50000 最大値 0 0 D105 +0 入力表示 🚺 38 ←入力表示が「33」になる 0 D106 +0 0 D107 +0 DW 0 +0 0 D109 +0
- 2. キーパッドを [3] [3] と押します。「入力表示」に [33] と表示されます。



 [ENTER] キー(または [CR] キー)を押します。オーバーラップ画面が消え、「D100」に [33]と表示されます。PLC 側で D100 を確認すると、"33"が書き込まれています。

その他のデータも同様に書込動作が行えます。

● マイナス値「-200」と入力する場合 キーパッドで[2][0][+/-][ENTER](または[CR])と押します。

Q & A

Q & A

マルチオーバーラップを使ったテンキー画面で考えられる誤動作とその対処方法は、以下の通り です。

- オーバーラップを呼び出す前から、カーソルが表示されている
 - スクリーン上に[入力]ダイアログ(=入力モード)の設定をしている。
 入力モードの設定は、テンキーと同じ場所(=オーバーラップライブラリ上)に設定します。スクリーン上の[入力]ダイアログの設定を削除してください。
- オーバーラップ上の [ENTER] キーを押してもオーバーラップが消えない
 - 次の原因が考えられます。
 - 数値表示とオーバーラップ呼び出しスイッチが別の位置に配置されている オーバーラップ呼び出しスイッチは入力対象の数値表示と重ねて配置します。
 - 2) 数値表示が複数のオーバーラップ呼出スイッチにまたがって配置されている 入力対象の数値表示が、オーバーラップ呼出スイッチ1個に対して配置されず、複 数にまたがって配置された場合、オーバーラップが消えない場合があります。

OK	の場合
----	-----

データ6

データ7

データ8

データ9

データ10

NG の場合

1234	データ
1234	データ

データ 1	1234
データ2	1234
データ 3	1234
データ 4	1234
データ5	1234

2個のスイッチのうち、後から登録された方のスイッチを押すと、[ENT] キーでオーバーラップが消えない (数値1個に対して2個のスイッチが 重なっているから)

3) システムメモリ \$s76 に "0" 以外のデータが入っている

\$s76 に "0" 以外のデータを入れると、テンキーの自動 OFF 機能 (= [ENTER] キーを 押すとオーバーラップが消える)が禁止されます。